

## 池田先生からの総括・まとめ



### ポイント1 不便さを逆手に取って発想しましょう。

地域の中で暮らしていると不便さばかりが目についてしまうかもしれません。しかし、地域振興は他地域のマネではうまくいきません。不便さを逆手に取り、青根地域ならではの特徴としてポジティブに捉えて考えてみましょう。

### ポイント2 地域の実態を客観的に把握しましょう。

地域振興を考える際には、課題や背景となっている事象を客観的に捉えることが重要です。統計データなど地域の実態を正しく把握していきましょう。

### ポイント3 「地域の当たり前」を「青根ならではの特徴」として、発信していきましょう。

本日は、地域の魅力を活かしたたくさんのアイデアが出されました。中でも地元の方だから知っていることを活かしたもののがとても多かったように感じます。それら地域では当たり前のことを見明らかにし、それを外に発信しながら取組につなげていきましょう。

## 参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ◆ まずは今、青根に住んでいる方が終の住処としてどうなるといいのかを把握することが大切。いいモデルケースになるようにアイデアを実現していきたいと思いました。
- ◆ 住民の方々が“つながっていく”瞬間を共有できたことが非常に面白かった。キーワードは“住民と住んでいない人の関係”と“循環”だと思いました。
- ◆ 課題に対して何か一つでもとりくむことが出来ればと思います。
- ◆ 地域の人たちとの交流が回をおうごとに深くなっている。たくさん話をしてくれるようになった。
- ◆ 話し合いの中で、地域課題や地域資源をピックアップして明らかにすることができる良かった。

## 次回開催のお知らせ

■ 開催日時：令和2年12月13日（日）10:00～12:00

■ 場所：旧青根中学校体育館

お問い合わせ

相模原市 緑区役所  
区政策課 TEL: 042-775-8802  
青根出張所 TEL: 042-787-2511  
メール: g-kuseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

ニュース  
第2号

## 緑区中山間地域振興モデル事業

2020年11月発行

青根のまちづくり検討委員会×法政大学多摩地域交流センター×相模原市

# 青根地域のこれからを 話し合おう

## ～第2回ワークショップのご報告～



令和2年11月8日（日）「地域振興のターゲットを考える」をテーマに第2回ワークショップを開催しました。今回からは法政大学多摩地域交流センターの学生も加わり、9月に開催した第1回目の意見を踏まえ、地域振興に向けた様々なアイデアが出されました。今回は第2回ワークショップの概要についてご報告いたします。

## 中山間地域振興モデル事業の目的

緑区基本計画（令和2年3月策定）に基づき、中山間地域の人口減少への対策や地域振興を推進し持続的なまちづくりを進めるため、青根地域をモデル地区として定めました。地域振興に向けた取組を段階的に実施することとし、今年度は青根地域の資源や特性について再認識し、この環境を将来にわたって保全・活用するため、地域の将来像を描き、地域において今、何ができるかを考える場としてワークショップを開催しています。

- 第1回ワークショップ：2020年9月27日開催／テーマ：地域の資源（魅力）を知ろう！
- 第2回ワークショップ：2020年11月8日開催／テーマ：地域振興のターゲットを考える

## 第2回ワークショップの概要

- |   |                        |
|---|------------------------|
| ■ 開催日時：令和2年11月8日（日）                     | ■ プログラム：               |
| 14:00～16:00                             | 1. 開会あいさつ              |
| ■ 場 所：旧青根中学校体育館                         | 2. 法政大学多摩地域交流センターの取組紹介 |
| ■ 参加者：青根地域にお住まいの方、<br>青根地域の関係者の方<br>38名 | 3. グループワーク             |
|   | 4. グループワーク結果発表&池田先生講評  |
|   | 5. 閉会                  |

### 青根のまちづくり検討委員会 吉濱さんあいさつ

第1回目ではみなさんと地域の魅力について活発な意見交換が行われました。地域の課題はたくさんありますが、法政大学池田先生のお話にもあったように「これならできる！」という前向きな検討を引き続きみなさんをしていきたいです。よろしくおねがいします！



# 法政大学多摩地域交流センターの取組紹介

## 法政大学多摩地域交流センター(HUCC)とは？

- 全部で3つある法政大学のキャンパスのうち、多摩キャンパスにだけあり、近隣地域と交流しながら大学(学生)が課外活動を行い、地域連携を深めながら地域課題を解決していく活動を行っています。
- 現在14のプロジェクトを行っています。



### ✿ 藤野やまなみプロジェクト

場所：牧野地域  
目的：牧野地域の魅力向上  
内容：  
① 自然公園の管理・整備  
② 情報誌（やまなみ通信）の発行  
③ オンラインミーティング  
④ SNSを使った情報発信など



### ✿ つながりプロジェクト

場所：城北・小松地域  
目的：地域交流  
内容：  
① 里山で学べるコンセプトに祭りやイベントの開催などを手伝い。  
① 里山祭り  
② 城北夏祭り ③ 収穫祭  
④ サンタdeコンサート  
⑤ 手紙プロジェクトなど



### ✿ 佐野川プロジェクト

場所：佐野川地域  
目的：景観保全・地域交流  
内容：  
① 耕作放棄地の拡大防止のため佐野川茶の栽培  
② 佐野川茶をつかったスイーツづくり  
③ 商品化&パッケージ開発  
④ イベントでのお茶の販売  
⑤ 佐野川茶のPRなど



## 講演：地域振興の視点について

いけだ かんじ  
講師：法政大学多摩地域交流センター長 池田寛二先生



### 池田先生による「地域振興の視点について」講演概要

私は長年青根地域に関わって様々な研究や調査を行っていますが、全てわかりきるということは不可能で、調べることでわからないことが発見され、その発見の積み重ねが新しい発想へとつながっていくと考えています。地域は常に変化をする生き物のようなものです。地域振興といつもなかなか直線的にゴールに行き着くことはなく、身を結ばないこともあります。ですが、これまで十数年議論してきた皆さんの熱い想いが歴史として積み重なってきてるので、それらが今後の議論や取組に活かしていけると良いのではないでしょうか。地域活性化には「よそもの」「若者」「ばかもの」が重要とも言われます。今回から学生も連れてきているので、ぜひ新しい力として活用しながら前向きなディスカッションを積み上げていきましょう。

## 誰のために、どんな取り組みができるかな？(各グループ検討内容より抜粋)

当日の意見から一部ご紹介します！

### 青根地域に住んでいる人にとって…

#歳をとっても生活しやすい地域、#団結している地域、#共助・助け合いができる地域、#住みやすい地域、#高校生や若者がたくさんいる地域、#中学生まで子育てできる地域、#住めば都を実感できる地域、#人がいて元気な地域、#子どもの声が響く地域、#地域から出た人が戻ってこれる地域、#青根の若い世代もまちづくりに参画できる地域

### にしたい！

地域の共同移動販売／地域のミニコミ誌（地域の人の誕生日を知らせるなど）／地域の人が交流できる縁側づくり／高齢者でも買い物しやすいしくみ／青根コミュニティで地域をつなぐ／団体買い物ビジネス／地域の交流イベント（カラオケ大会など）／青根ホームステイ／人材交流コーディネーター／自治会同士の交流会／ネット環境の整備／乗合タクシーなど

### 青根地域に訪れる人にとって…

#通過ではなく気軽に立ち寄りやすい地域、#逆に過疎で不便な地域、#非日常を味ってもらえる地域、#思わず来なくなっちゃう地域、#住みたくなっちゃう地域

### にしたい！

►そのためのアイデア  
バイカーやハイカー向けの休憩所（雨宿りできる場所）を作る／自転車の空気入れスポットを作る／ライダーハウス／うどんや野菜など青根地域を紹介する場所をつくる／地域の内外の人が交流できるような宿泊施設を作る（中学校や空き家を活用）／星空や山歩きなどを味わってもらう地域の人によるツアー／荒廃地の活用／農作業体験／イベント／情報発信／青根ワーケーションなど

### 青根地域で働いている人にとって…

#住民が地域内で働きやすい地域  
#働きながら定住できる地域

### にしたい！

地区外へ働きに出なくとも地区内に就労できる場所を作る／休耕田と一緒に耕す！など

### 青根地域をまだ知らない人に対して…

#子どもを育てやすい地域、#仕事があり働きやすい地域、#新しい仕事が創造できる地域

### にしたい！

►そのためのアイデア  
地域の人たちみんなで子育てをする／空家や青根中学校を使ってワークスペースを作る／休耕田をチャレンジショップにする／PRを積極的に行う／都会の人が畑を耕せる／青根ウェルカムパーティなど

